

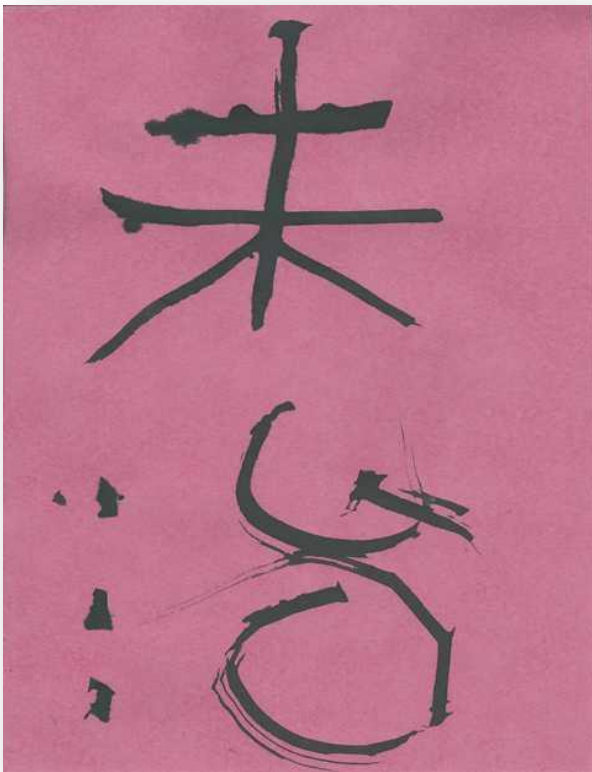
メンバー、ボランティア、学生
みんな仲間!

けやきと仲間 めーる



こころの病と闘っている人々と千葉大学生や周囲地域との協働の会 地域活動支援センター「けやきと仲間」

平成 24 年 7 月 1 日(第 87 号)



未治



怒

新しいプログラム「創作書道」の作品です。

6 月からボランティアの T.M さんのご指導で始まりました。
毎回、斬新な作品が誕生しています。



バーベキュー大会やりました

5月29日（火） 晴れ!!

昨年までの経験をふまえて、今年はよりよい大会にしようと色々考えました。

食材を以前より多くして、満足いくまで食べられるようにしました。そして全員が座れるように、1炉に対して6人までというふうに人数を決めたりしました。その結果はと言いますと、炉の近くに鉄製の棒で出来た棚があり、多くの方がそちらに座っていました。



食材の方は、当日あまりの暑さと炉から出る煙のせいで、予想していた程食欲は上がりず、食べ終わるのに手間どりました。

なかなか当日のことを予想するのは難しいと思いました。すべての人の好みを叶えようと思うと、食材を選ぶだけでもたいへんです。大勢で何かやるということになると、やはり最大公約数のような内容になってしまうのはやむを得ないことだと思います。

当たり外れのない食材で、一般的な料理を作りました。でも大勢で食事することによって、いつもと違う気分が味わえて、皆、楽しめたことと確信しています。気分転換には最高のイベントだったと思います。



皆様、色々意見をお聞かせ下さい。

担当 S

暑気ばらいへのお誘い

Sさん、Iさん、Nさんを実行委員として、8月1日ごろ暑気ばらい（夕涼みと散歩と食事）を企画中です。「15時頃から、稲毛海浜公園・花の美術館でミニコンサートを見た後、高浜の大きな通りを歩いて稲毛海岸駅方向に進む」といった案などいろいろ検討しています。

7月15日頃までにはメンバーミーティング等で皆さんの意見を取り入れて、詳細を決定し、参加者を募ります。乞、ご期待！

ビールで乾杯！

絵を描く仲間と、5月30日から10日間、ドイツにスケッチ旅行に行ってきました。

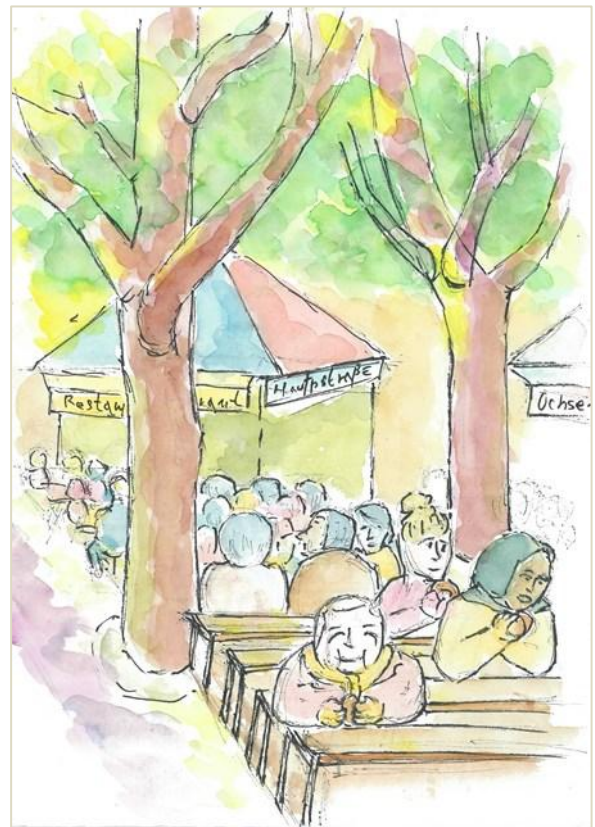
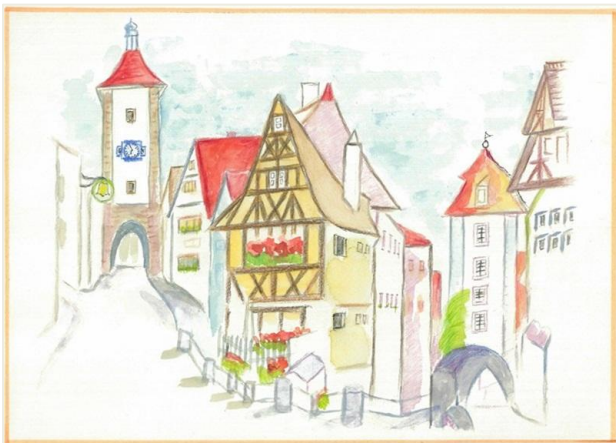
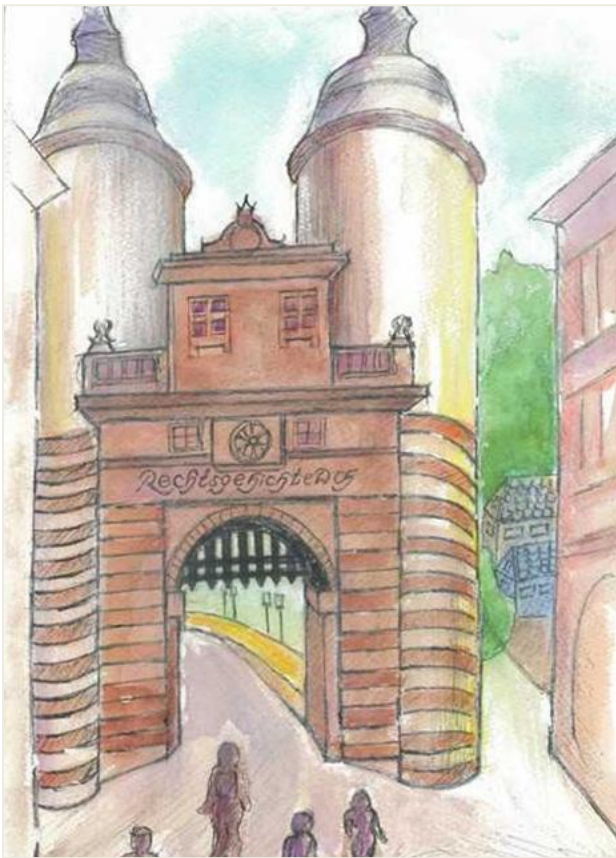
いつもだるいのですが、「ここは頑張っ！」と思っていたのですが、旅行保険加入書に精神に障害があることを細かく記入したら、保険会社から電話があり「受け取れない」とのこと、あわてて旅行会社に連絡を取って処理してもらいました。書き直したそうです。

精神障害があることで、外国に行くのにクレームがつくとは夢にも思いませんでした。

ドイツの「ロマンチック街道」といわれるハイデルベルグ、ローテンベルグ、ミュンヘンを3日ずつかけてスケッチをしてきました。一枚に3~4時間かけて、10枚描いてきました。この作品はハイデルベルグの城門を描きました。

夜は毎日ビールとお肉、たくさん食べてきました。皆さんとどこかスケッチに行きたいですね。

I.K



花々の愛らしさ

私は、いつも「けやきと仲間」の畑は良く見るのですが、ハーブガーデンや道路脇の花にはなかなか目が行きません。でも先日、ハーブガーデンの花の色に魅せられ、園芸作業の後、見に行きました。



ステキでしょう?! ハーブの花も眺めてみて下さい。

K.S

リレー小節

第6話

アレクは女に言った。「子どもの教育って難しいね。ついつい『こうしなさい。』って怒鳴って、命令して、子どもの行動を変えようとしたくなるけど、聞く耳を持たない場合どうしたらいいのってパニックになっちゃうよね。」

(あんたも子どもじゃない。) 女は心の中でつぶやいた。

「子どもの心を持った、ケヤキの妖精さ。今の心をつぶやきもちゃんと聞こえてるよ。」

「え？」

「つまり僕が言いたいのは、『こうしてほしい。』って素直に言えばいいんだよ。確かに大きなくくりで言えば、命令することには変わりはないさ。でも、声のトーンや口調、間の取り方を工夫することで、子どもだけじゃなく、人に対しての想いの伝わり方は変わってくると思うよ。」

次号へ続く (担当 JUN)

川柳

メンバーは困った時こそ仲間だぞ

変えるのは自分だよね君でなく

わかってるあいつの帰り待つ君を

カラオケで少し息抜き癒される

同窓会いつも女性が元気です

編集で今日もダメ出し凹みます